応用自然科学専攻　ディプロマ・ポリシー

（専攻の人材育成目標）

応用自然科学専攻は、学部や修士課程と連携し、基礎理学を包含した応用自然科学の幅広い分野で高度な専門性を養う教育を行い、また、文理統合の教育理念に基づいた大学院教育を行うことで、自然科学およびその応用分野の高度な知識と技術を創造し、健全な自然観、地球観、人間観を備え、研究開発型および問題解決型の高度専門職業人を輩出する。我が国のみならずアジア太平洋地域から広く学生を受け入れ、更に高度な専門職業人を養成する。

【知識・理解】

・海洋と物質を中心とする自然科学の中の特定専門領域について深く理解するとともに、当該分野の国際的な研究動向や最先端の知識を身につけている。

【思考・判断】

・専門領域に関する理解と知識に基づいて問題の本質を把握するとともに、明晰かつ批判的に分析し、的確に判断することができる。

【関心・意欲】

・海洋と物質を中心とする自然科学分野の中の専門領域とその周辺分野に、幅広い学問的関心と研究意欲を持ち続けることができる。

【技能・表現】

・自身の研究成果を査読システムの整った学術誌に発表するとともに、その成果を広く社会に還元することができる。

【態度】

・高度専門職業人として、社会や自然、あるいは文化や組織に対して負うべき責任を理解して、行動することができる。

上記の人材育成目標に即して、身につけた高度な専門的知識・技能等を統合し、学位論文を作成することで、その成果を広く社会へ発信できる。